

小山町定例記者懇談会

4月

平成 28 年 4 月 28 日 (木)

小山町 企画総務部 町長戦略課



金太郎生誕の地 おやま

人の動き (平成 28 年 4 月 1 日現在)

人 口 : 19,197 人 (前月比 Δ 110 人)

世帯数 : 7,516 世帯 (前月比 Δ 23 世帯)

★会見事項

- 1 熊本地震に伴う熊本県に対する緊急支援物資輸送の実績と職員の派遣について
- 2 部長マニフェストの平成 27 年度評価と 28 年度マニフェストの公表
- 3 小山湯船原工業団地への分譲予約開始について
- 4 移住・定住「富士の国やまなし・しずおか合同相談会」について
- 5 北郷中学校 (1 年生) 防災教室の開催について
- 6 ふるさと納税の平成 27 年度実績
- 7 第 52 回富士山金太郎春まつり
- 8 足柄千年古道ハイキング
- 9 第 13 回富士山国際ヒルクライムサイクルロードレースの開催
- 10 第 19 回ツアー・オブ・ジャパン富士山ステージ
- 11 道の駅ふじおやま「こどもの日スペシャルイベント」
- 12 なんでも相談・消費生活相談実績
- 13 古着回収実績
- 14 食品トレイの回収実績
- 15 平成 28 年度小山町消防操法大会

◇その他の添付資料

小山町内イベント等一覧 (平成 28 年 5 月分)

◇次回の定例記者懇談会は

5 月 26 日 (木) 午後 3 時 30 分～ 役場本庁 3 階 301 会議室で行う予定です。



金太郎生誕の地 おやま

熊本地震に伴う熊本県に対する緊急支援物資の輸送について

(防災課)

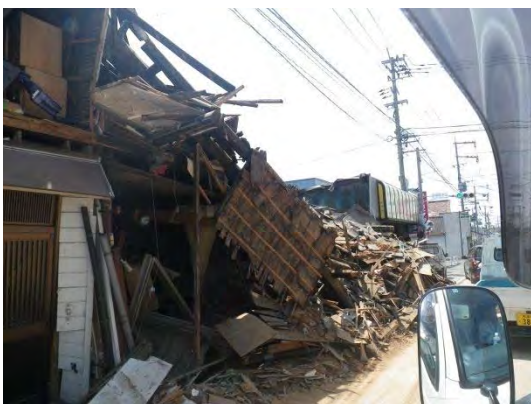
(概要)

小山町は、4月14日(金)からの熊本地方を震源とする熊本地震に対する被災者支援のため、「災害時における救援物資・避難施設の提供に関する協定」(平成25年1月17日締結)を締結している「丸善食品工業株式会社」様の協力を得て、飲料水(530ml、2304本)を、熊本県の要請を受けて、小山町職員6名により、同県上益城郡益城町の福祉施設に搬入しました。

(緊急支援物資輸送の経過)

- 1 4月18日(月) 10:00
静岡県に緊急支援物資(飲料水)の支援について要請があれば、小山町で輸送し必要な場所に搬入する旨を連絡
- 2 4月18日(月) 17:15
静岡県から熊本県への緊急物資輸送について要請を受ける。
- 3 4月19日(火) 15:15
小山町職員6名(岩田危機管理監他5名)、トラック1台、車両1台が熊本県に向けて役場を出発
- 4 4月20日(水) 10:30
熊本県庁到着し、静岡県の連絡要員と合流して、熊本県の指示により、上益城郡益城町の「グループホーム ふるさと」へ物資を輸送した。
- 5 4月20日(水) 13:50
「グループホーム ふるさと」に物資を搬入、引き渡しを完了し帰路出発
- 5 4月21日(木) 10:50
役場到着

益城町の被災状況



飲料水の搬入



（今後の熊本県に対する支援）

熊本県嘉島町に設置する「静岡県 現地支援本部」に、県からの要請により、第３陣（５月１日～７日）及び第４陣（５月５日～１４日）にそれぞれ職員１名の派遣を予定
支援業務は、次のとおり。

- １ 被災地の支援ニーズの把握
- ２ 被災町から要望のある業務

住民窓口、国保等保険、義援金、罹災証明、仮設住宅受付、応急危険度判定、災害対策本部運営支援など

【問い合わせ先】小山町 防災課
電話 ７６－５７１５

**平成 28 年熊本地震にかかる静岡県現地支援本部に対する
小山町職員派遣について**

平成 28 年 4 月 28 日

小山町役場 総務課

去る 4 月 14 日に発生した熊本県内を震源とする地震（平成 28 年熊本地震）の被災市町村を支援するため、静岡県では、熊本県嘉島町に「静岡県現地支援本部」を設置することとなり、市町職員の派遣協力依頼が出されました。小山町では、4 月 20 日に部課長を通じ希望者を募り、下記のとおり、職員 2 名を派遣することとしました。

記

- 1 派遣者 第 3 陣 岩田慈史（いわた よしふみ） 健康福祉課 保健師
第 4 陣 長田一平（おさだ いっぺい） 町長戦略課 副主任
※派遣者の詳細は別紙
- 2 派遣期間 第 3 陣 平成 28 年 5 月 1 日（日）夕～5 月 7 日（土）朝
第 4 陣 平成 28 年 5 月 5 日（木）夕～5 月 14 日（土）朝
- 3 派遣先 熊本県嘉島町「静岡県現地支援本部」
（熊本県上益城郡嘉島町上島 545 嘉島町民会館）
- 4 業務内容 被災地の支援ニーズの把握
被災地から要望のある業務（住宅被害認定・罹災証明・避難所の運営・支援物資管理等が想定されています。）
- 5 派遣団編成 県職員を中心に県内各市町から 18 名で編成
- 6 その他 派遣職員は、初日の 17 時に県庁へ集合し、県が手配したバスで熊本県へ向かいます。
また、4 月 28 日現在、第 5 陣から第 8 陣までの派遣が決定しており、小山町でも追加の派遣を検討しています。
- 7 問い合わせ 小山町 企画総務部 総務課 梶 0550-76-6131



平成 27 年度部長マニフェストの評価及び 平成 28 年度部長マニフェストの作成について

(概要)

平成 27 年度当初に各部長が作成した部長マニフェストについて、目標達成状況等の評価を行うとともに、新たに平成 28 年度の部長マニフェストを作成しました。これらは、町のホームページ及び広報おやま 5 月号で公表します。

(内容)

1 平成 27 年度部長マニフェストの評価

(1) 目的

施策の取組結果や目標達成状況について評価を行い、施策の P D C A を図る。

(2) 評価方法

町長は、各部長がマニフェストに掲げた施策毎の目標達成状況を踏まえ、A（達成）、B（一部達成）、C（未達成）の 3 区分で評価を行うとともに、コメントを記載する。

(3) 内容

別添「平成 27 年度部長マニフェストの評価結果」のとおり

2 平成 28 年度の部長マニフェストの作成

(1) 目的

ア 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指す。

イ 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組む。

(2) 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、教育部長、危機管理監（28～）

(3) 内容

別添「平成 28 年度部長マニフェスト」のとおり

【問い合わせ先】

理事

電話 7 6 - 6 1 3 3



小山湯船原工業団地の分譲予約開始について

(未来拠点課)

1. 要 旨

静岡県企業局では、「内陸のフロンティアを拓く取組」として小山湯船原工業団地の整備を進めております。このたび分譲価格が決定されたため進出希望する企業の募集を開始します。

東の玄関口となる小山湯船原工業団地は都心から 100 km圏内に位置し、約 1 時間の好アクセスと、平成 32 年度に供用開始を予定している新東名高速道路の延伸により現東名とのダブルネットワーク化が可能となります。また豊かな自然環境と富士山の眺望、豊富な水資源を活かし、静岡県と連携して積極的に企業誘致に取り組んでまいります。

2. 事業概要

所在地：小山町湯船地内（内陸フロンティア推進区域内）

開発面積：31.4 ヘクタール

アクセス：新東名高速道路（仮称）小山 P A スマート I C（平成 32 年度供用予定）から約 4 km

国道 246 号中島 I C から約 3 km

引渡開始：平成 30 年度予定

3. 分譲価格

・全 7 区画

最小区画 11,337.08 m² 220,620,546 円（64,218 円/坪）

最大区画 63,881.43 m² 1,618,801,194 円（83,624 円/坪）

平均単価 77,231 円/坪

・分割又は複数区画購入可能（要相談）

4. 内陸フロンティア推進区域への支援策

（1）地域産業立地事業費助成

用地取得費と新規雇用に対し、県と町が連携して助成

【内陸フロンティア推進区域に対する補助率等の引上げ】

区分		区域内	推進区域
用地取得 補助率	成長分野※1	30%	→ 40%
	その他	20%	→ 30%
限度額※2	成長分野※1	3 億円	→ 4 億円
	その他	2 億円	→ 3 億円

※1 成長分野：食品・医薬品・医療機器・環境関連の製造業など

※2 限度額：用地取得と新規雇用の合計

(2) 内陸フロンティア推進資金

内陸フロンティア推進区域に立地する中小企業が活用できる、土地の取得、建物・設備投資に対する県制度融資

- ・ 融資利率 : 1.4%以内
- ・ 利子補給率 : 0.67%以内
- ・ 融資限度額 : 10 億円
- ・ 融資期間 : 15 年 (据置 5 年)

5. 問合せ

- ・ 静岡県企業局事業課地域整備班・新プロジェクト推進班
電話 : 054-221-2174
- ・ 小山町企画総務部未来拠点課未来拠点班
電話 : 0550-76-6129

小山湯船原工業団地の分譲価格について

1 団地の概要

所在地・面積	小山町湯船地内、31.4 ha 7 区画
特 徴	“ふじのくに”の東の玄関口にふさわしい景観・環境配慮型の工業団地
整備方針	「富士山を借景にした森に佇む工業団地」
アクセス	新東名小山スマート I C（H32 年度供用予定）から 4 k m
引 渡 し	平成 30 年度

2 団地の特徴

- ・都心から100 k m圏内に位置し、約 1 時間でアクセス可能
- ・平成32年度新東名高速道路の延伸により、東名高速道路とのダブルネットワーク化が可能
- ・富士小山工業団地やハイテクパーク富士小山に近接した生産活動の好適地
- ・豊かな自然環境と富士山の眺望

3 分譲価格





富士の国やまなし・しずおか合同相談会について

(おやまで暮らそう課)

平成28年5月28日(土)・29日(日)に、JR町田駅近くにある町田市文化交流センター(町田市原町田4-1-14)にて、「富士の国やまなし・しずおか合同相談会」が開催され、29日(日)に小山町も参加します。

山梨県、静岡県多くの自治体、企業や各種団体が参加する相談会です。この機会にぜひご参加ください。

1. 名 称 富士の国やまなし・しずおか合同相談会
2. 日 時 平成28年5月28日(土) 13:00～17:00
平成28年5月29日(日) 10:00～16:30
3. 場 所 町田市文化交流センター 5階 会議室「けやき」
東京都町田市原町田4-1-14
※JR横浜線 町田駅ターミナル口 直結
小田急線 町田駅西口より徒歩5分
4. 内 容
 - ・田舎暮らし相談ブースの出展
相談ブースにて参加自治体、民間企業のPRや情報発信のほか、移住を希望する方々からの具体的な相談を受け付けます。
 - ・移住実践者によるセミナー
県内移住者による田舎暮らし実践者体験談のセミナーを実施します。
 - ・おすすめ情報ピックアップ
移住支援の地域のおすすめ情報、物件に関する情報などを自由にPRします。
5. 主 催 山梨県、静岡県
6. その他 申込不要、参加無料ですので、お気軽にお越しください。

問合せ先：小山町おやまで暮らそう課 岩田、山口
電 話：0550-76-6137



北郷中学校【1 年生】の防災教室について

(防災課)

(概要)

小山町は、平成 28 年度から平成 29 年度にわたる北郷中学校の防災指定校に伴い、第 1 回目として 5 月 10 日に行われる 1 年生の防災教室について、小山町防災士連絡会の防災士の協力を得て、北郷中学校の防災教育を担当・支援します。

(防災教室実施計画(骨子))

- 1 日 時
平成 28 年 5 月 10 日 (火) 08:30~12:00
- 2 場 所
北郷中学校 体育館
- 3 対 象
北郷中学校 1 年生 38 名
- 4 支援者
小山町防災課 (杉山課長以下 4 名)・小山町防災士連絡会 (湯山会長以下 8 名)
- 5 防災教室の概要

時 間	科目等	主な内容	担当など
08:30~08:35	開 講	挨拶 (山口先生) オリエンテーション 等	学校職員及び全支援者
08:35~09:20	講 義	地震などの基礎知識 地域で想定される災害の基礎知識 地震災害史 (白馬村の活動等) 等	役場職員 (防災専門監)
09:30~10:50	演 習	避難所運営ゲーム HUG (避難所運営の概要説明及び 疑似体験)	役場職員 (防災対策指導員) 防災士×6 名
11:00~11:55	体 験	避難所の開設 (通路や居住スペースの区分け、備蓄 資機材の組立や設置など) 備蓄食料による食事の準備・配食 発電機操作	役場職員 (防災課長・勝又主事 ・防災対策指導員) 防災士×5 名
11:55~12:00	閉 講	講評及び挨拶 (防災課長)	学校職員及び全支援者

【問い合わせ先】小山町 防災課
電話 76-5715



平成 27 年度 ふるさと寄附（納税）実績

（町長戦略課）

町では、ふるさと納税の推進を図るとともに、町内産業の活性化を寄与することを目的に、町内・町外を問わず、ふるさと納税を行った寄付者に対してお礼品を贈呈する「小山町ふるさと納税推進事業」を平成 27 年 9 月 1 日から開始しました。

4 月 26 日現在、町内協力企業は、41 事業所で 158 品目を揃えています。平成 27 年度の寄附申込件数及び寄附金額の実績は、31,325 件で 8 億 4,866 万 7 千 294 円となりました。

【平成 28 年 3 月 31 日現在】

- 1 寄附申込件数 31,325 件
- 2 寄 附 金 額 848,667,294 円
- 3 登録協力企業 41 事業所 158 品目
及び返礼品
- 4 寄附使い道
 - ・指定しない 約 44.1%
 - ・世界遺産“富士山”を訪れる人のために 約 28.4%
 - ・小山町を元気にする「金太郎大作戦」の展開 約 13.5%
 - ・登録有形文化財等の保全・活用のために 約 8.5%
 - ・金太郎のふるさとづくり 約 3.4%
 - ・未回答 約 2.1%
- 5 住所地別割合

東京都	26.4%	神奈川県	12.4%
愛知県	10.2%	大阪府	7.8%
埼玉県	5.2%	兵庫県	5.2%

【問い合わせ先】

町長戦略課 地域コミュニティ室

電話 76-6135



「第 52 回 富士山金太郎春まつり」について

(商工観光課)

日時：平成 28 年 5 月 3 日（火・祝）8:00～16:00

会場：小山町中島金時公園（雨天の場合：綱引き・相撲は小山町総合体育館）

主催：富士山金太郎まつり実行委員会

内容：わんぱく相撲御殿場・小山場所、子ども相撲大会、子ども綱引き大会
新入学児・妊産婦健康祈願、大砂嵐関記念イベント、水上バルーン

(概要)

今回で第 52 回を迎える富士山金太郎春まつりを小島の金時公園で開催いたします。

この春まつりは、子どもたちの健康と健やかなる成長を祈るとともに、町民各位のコミュニケーションの場として地域の活性化を図るとともに、さらには観光イベントとして、県内外に“金太郎生誕の地”である小山町を広く P R することを目的として実施します。

まつりでは、地域の子供達による相撲や綱引きなど、力自慢の金太郎にちなんだイベントや福餅まきが行われます。また、公園内の「金時神社」では、新入学児童や妊産婦の健康祈願も開催いたします。

さらに、今年も昨年と同様に小山町の観光親善大使である大相撲大嶽部屋の大砂嵐金崇郎関が来場し、乳幼児の健康祈願「泣き相撲」や子供達とのぶつかり稽古などのふれあいイベントを実施し、まつりを盛り上げます。

ゴールデンウィークの一日、子供達の“元気”を育むお祭りに多くの皆様のご来場をお待ちしております。

(参考)

- 子ども相撲大会：11 チーム
- 子ども綱引き大会：高学年女子＝12 チーム、低学年男女＝13 チーム

問合せ先 商工観光課 商工観光班
担当 岩田
電話 0550-76-6114（直通）

第52回 富士山金太郎



夏まつり

大砂嵐金崇郎関が
やってくる!



金太郎
大まさかり

平成28年

とき

5/3 祝 午前8時～

ところ

金時公園

プログラム

●金時神社祭典… 8:00～ 8:30
※金時神社で神事

☀ 8:00～ 8:30 [金時神社]

●開 会 式… 8:30～ 9:00

☀ 9:00～ 9:30 [小山町総合体育館]

●バザー・露店商… 9:00～16:00

雨天中止

●子どもつなひき大会… 9:00～11:30

☀ 10:00～12:00 [小山町総合体育館]

●金時わんぱく相撲… 9:00～11:20

☀ 9:30～12:00 [小山町総合体育館]

●大砂嵐関記念イベント…11:20～12:30

☀ 12:00～13:00 [小山町総合体育館]

●子ども相撲大会…13:00～15:30

☀ 13:00～15:00 [小山町総合体育館]

●新入学児健康祈願… 9:00～ 9:30

予約制 ※新小学1年生の手形を色紙に押し、健康祈願

☀ 9:00～ 9:30 [金時神社]

●妊産婦健康祈願…10:00～10:30

予約制 ※妊産婦の健康祈願

(抽選で金時健康ふとんプレゼント)

☀ 10:00～10:30 [金時神社]

●表彰式・閉会式…15:30～

☀ 15:30～ [小山町総合体育館]

●福もちまき…

(つなひき・相撲大会表彰式終了後)

☀ [小山町総合体育館]

雨天時は ☁ のプログラムを開催します。

新入学児・妊産婦健康祈願に申込みされた方は、開始15分前までに金時神社へ集合し、受付をしてください。

予 告 富士山 金太郎 夏まつり
7/30(土)

お問合せ

●富士山金太郎まつり実行委員会
0550-76-6114

●小山町観光協会 0550-76-5000

第52回 富士山金太郎春まつり ご案内

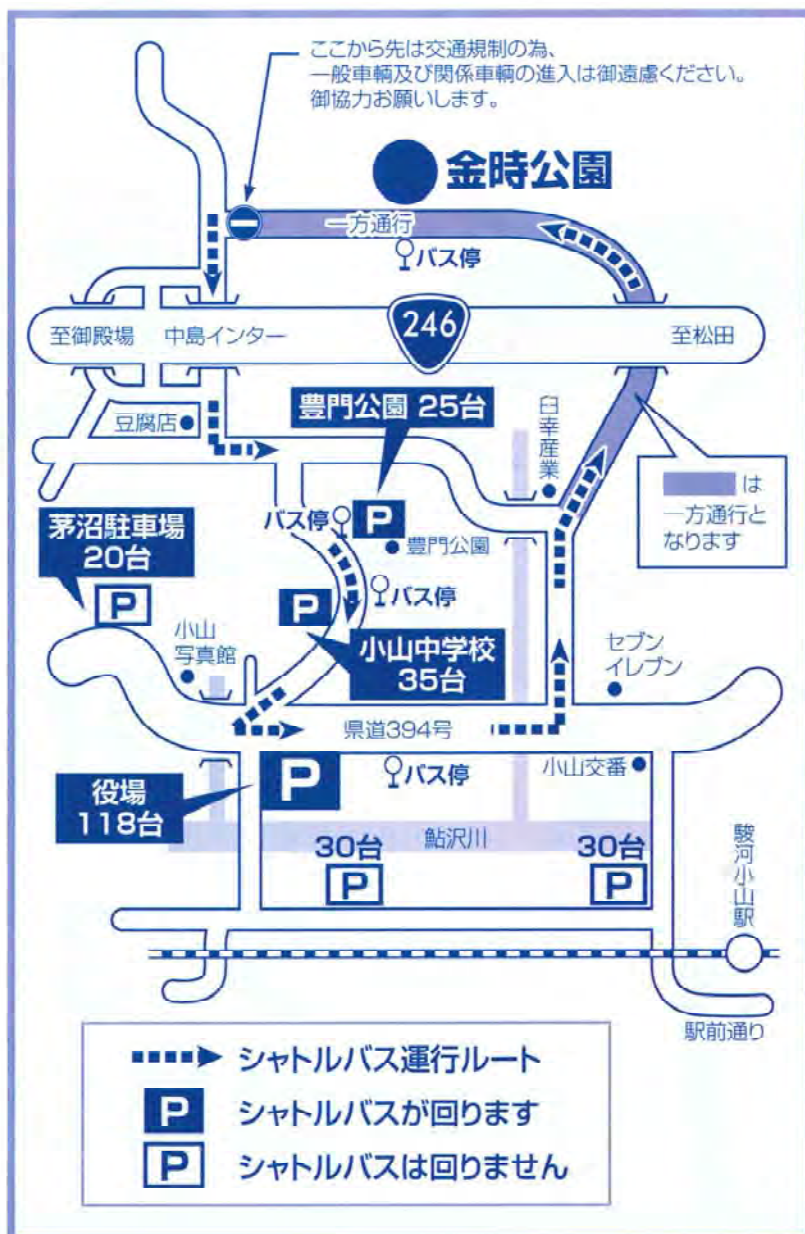
金時公園と駐車場・交通規制のご案内(午前7時▶午後5時)

※雨天時は交通規制はありません。



金時神社

- 金時神社祭典
- 新入学児健康祈願
- 妊産婦健康祈願



無料シャトルバス 運行予定時刻 ※雨天時は運行しません。

金時公園周辺は
駐車場がありません。
役場周辺の駐車場を
御利用になり、シャトル
バスにご乗車ください。

役場本庁

7:30 始発



折返し
運転

金時公園

16:50 最終



足柄千年古道ハイキング
～新緑の足柄古道の歴史と富士山を楽しむ～

(商工観光課)

(概要)

古代から都と関東を結ぶ官道として栄えた足柄古道を歩くハイキングを神奈川県南足柄市と共同で開催します。

両市町の参加者は、南足柄市の地蔵堂で合流し、足柄峠を經由し JR 足柄駅まで行動を共にします。南足柄市の地蔵堂から足柄峠までは南足柄市のガイドが、足柄峠から JR 足柄駅までは小山町のガイドが案内します。

ハイキング終了後には、小山町の温泉施設「あしがら温泉」で、疲れを癒してもらいます。

(内容)

日 時 平成 28 年 5 月 21 日 (土)

参 加 者 小山町：25 名 南足柄市：30 名

集 合 場 所 小山町役場 外来駐車場 7:45
※ 7:45～7:55 に受付をいたします。

コ ー ス 8:00 小山町役場出発(バス移動)
(小山町側) 8:40 地蔵堂到着
9:00 地蔵堂出発
11:00 足柄峠着
11:00～11:30 足柄城址散策(ガイド説明付)
11:30～11:35 式典
11:35～12:15 足柄城址にて昼食※お汁粉のおもてなし有り
12:15 足柄峠出発
15:00 JR 足柄駅着
15:05 JR 足柄駅発(バス移動)
15:15 あしがら温泉着
15:15～16:15 入浴タイム
16:15 あしがら温泉発(バス移動)
16:25 小山町役場到着・解散
※表示時刻は目安です。

問 合 せ 小山町役場商工観光課 商工観光班
担当 萩川(はらいかわ)
TEL: 0550-76-6114



第 13 回 富士山国際ヒルクライムサイクルロードレース開催について

(商工観光課)

【日時】

平成 28 年 5 月 22 日 (日) 8 : 30 スタート

【参加人数】

最大 1000 名

【協議内容】

ふじあざみライン (須走口登山道) の登坂道路を舞台にした自転車トライアルレース

【概要】

世界遺産である富士山の登山道となる“ふじあざみライン”は、延長 11.4km 平均勾配 10%、最大勾配 22%と山頂を目指す車道で勾配がきついルート。競技スタート地点となる道の駅「すばしり」横のふじあざみライン入口から富士山須走口 5 合目まで、一気に駆け上がるヒルクライム・レース。高低差の影響で天候が変わりやすく、スタート地点とフィニッシュ地点の気温差も大きく変わる。

【スケジュール】

7 : 00 ~ 交通規制開始
8 : 25 ~ 競技説明
8 : 30 本レーススタート
12 : 30 頃 表彰式、閉会式
14 : 00 頃 終了

【交通規制内容】

ふじあざみライン 7 : 00 ~ 13 : 00 頃 全面通行止め

問合せ先
小山町商工観光課
担当 萩川(はらいかわ)
電話 0550-76-6114

第 13 回 富士山国際ヒルクライムロードレース

2. スケジュールについて (4.12 案)

5月21日(土)

- 受付 13:00～16:00 自衛隊富士学校総合グラウンド受付テント
- 試走 前日の試走は可能ですが交通規制はされません

5月22日(日)

- 受付 6:30～8:00 自衛隊富士学校総合グラウンド受付テント
- 試走/スタート前アップ 8:00まで スタートラインより上400mの区間
- 競技説明 8:25～8:28 スタート地点(あざみライン上)
- 競技スタート
 - 第1スタート 8:30 I&A^oート
 - 第2スタート 8:33 男子A、男子B、男子H、フェミニン、MTBクラス
 - 第3スタート 8:36 男子C、男子D
 - 第4スタート 8:39 男子E
 - 第5スタート 8:42 男子F、男子G
- 競技終了 10:20 (ゴール地点制限時間)
- 表彰式 12:30～(全クラス) 自衛隊富士学校総合グラウンド特設ステージ

大会事務局 JBCF 事務局 事業部
ジャパンフレンドシップサイクルロードレース事務局
〒108-0073 東京都港区三田 3-2-8 Net2 三田ビル
Mail:info@japan-fc.jp



「第 19 回 ツアー・オブ・ジャパン 富士山ステージ」について

(商工観光課)

日 時：平成 28 年 6 月 3 日（金）8:45 スタート予定

走行区間：生涯学習センター前（町道原向中日向線）～ふじあざみライン

参加人数：約 100 名（プロの自転車選手）

概 要：昨年同様、町生涯学習センター（小山町阿多野 130）から、ふじあざみラインの本レーススタート位置までの全長約 13.2 kmを走行する「セレモニーラン」を行い、大会を盛り上げる取り組みを計画している。

セレモニーラン終了後は、しばらく休憩した後、例年通り、ふじあざみラインを駆け上がる本レースを行う。

スケジュール：8:30～ 町道原向中日向線交通規制開始

8:40～ 開会式

8:45～ セレモニーランスタート（時速 15～20 kmで 45 分程度）

9:30～ セレモニーラン終了 30 分間休憩（ふじあざみライン）

10:00～ 本レーススタート（ふじあざみライン）

11:40～ 閉会式・表彰式（12:00 頃 終了）

ルート概要：町道原向中日向線（生涯学習センター）→（富士スピードウェイ東ゲート）→町道上野大御神線→県道須走小山線（柴怒田）→（須走本町交差点）→県道足柄停車場富士公園線→（富士学校入口）→町道富士学校線→（富士学校）→（須走 I C 交差点）→東富士五湖道路側道→ふじあざみライン

なお、現在、大会本部や警察、道路管理者等関係機関と走行の条件について調整している。

そ の 他：当日、このレースを支援してくれるボランティアも募集している。

問合せ先

商工観光課 商工観光班

担当 萩川（はらいかわ）

電話 0550-76-6114（直通）



UCI公認国際自転車ロードレース

19th TOUR OF JAPAN 実施概要(予定)

名 称 UCI公認国際自転車ロードレース『19th TOUR OF JAPAN』(アジアツアー・レースクラス 2.1)

主 催 自転車月間推進協議会

主 管 TOUR OF JAPAN 組織委員会(事務局:一般財団法人日本自転車普及協会)

競技主管 公益財団法人日本自転車競技連盟

後援(予定) 内閣府/総務省/文部科学省/経済産業省/国土交通省/消費者庁/東京都/大阪府/三重県/静岡県
公益財団法人 JKA / 朝日新聞社 / 日刊スポーツ新聞社

協力(予定) 堺市/京都府/京田辺市/精華町/岐阜県/美濃市/いなべ市/飯田市/飯田観光協会/
小山町(静岡県駿東郡)/伊豆市/一般財団法人日本サイクルスポーツセンター/東京港埠頭株式会社

特別協賛 (未定)

協 賛 (未定)

出場チーム 全 16 チーム(海外 8 チーム・国内 8 チーム)

[海外] ランプレ・メダ(イタリア)/N P P O・ヴァーニ ファンテーニ(イタリア)/ユナイテッドヘルスケア プロフェッショナルサイクリングチーム(アメリカ)/
ピシュガマン ジャイアント チーム(イラン)/スカイダイヴ ドバイ プロサイクリングチーム・アル アハリ クラブ(UAE) /
タブリーズ シャハルダリ チーム(イラン)/アヴァンティ アイソウェイ スポーツ(オーストラリア)/トレンガヌ サイクリングチーム(マレーシア)

[国内] ブリヂストンアンカー サイクリングチーム/チーム右京/愛三工業レーシングチーム/マトリックス パワータグ/宇都宮ブリッツェン/
シムレーシング/キナン サイクリングチーム/日本ナショナルチーム

チーム編成 9 名(選手 6 名/監督 1 名/メカニック 1 名/マッサー 1 名)

競技規則 UCI(国際自転車競技連合)規則及び本大会特別規則による。

開催日程 2016 年 5 月 29 日(日)~6 月 5 日(日)

第1ステージ	【 堺 】	5/29(日)	1335	大仙公園周回コース(個人タイムトライアル)	2.65 km
第2ステージ	【 京 都 】	5/30(月)	925	(セレモニーラン:普賢寺ふれあいの駅→ 同志社大学京田辺キャンパス→普賢寺小学校 5.5 km) 普賢寺小学校前→けいはんなプラザ周回コース <パレード 3.4 km> 4.2 km + 16.8 km x 6 周	105.0 km
第3ステージ	【 美 濃 】	5/31(火)	915	旧今井家住宅前→横越→美濃和紙の里会館前周回コース <パレード 4.0 km> 11.6 km + 21.3 km x 6 周	139.4 km
第4ステージ	【 い な べ 】	6/1(水)	930	阿下喜駅前→下野尻交差点~農業公園(梅林公園)周回コース <パレード 2.8 km> 9.1 km + 15.2 km x 8 周	130.7 km
第5ステージ	【 南 信 州 】	6/2(木)	915	飯田駅→下久堅周回コース→松尾総合運動場前 <パレード 7.3 km> 12.2 km x 10 周 + 1.6 km	123.6 km
第6ステージ	【 富 士 山 】	6/3(金)	845	(セレモニーラン:小山町生涯学習センター→須走商店街→ ふじあざみライン入口 13.2 km) ふじあざみライン入口→富士山須走口 5 合目(ヒルクライム)	11.4 km
第7ステージ	【 伊 豆 】	6/4(土)	930	日本サイクルスポーツセンター周回コース 12.2 km x 10 周	122.0 km
第8ステージ	【 東 京 】	6/5(日)	1100	日比谷シティ前→大井埠頭周回コース <パレード 1.2 km> 14.7 km + 7.0 km x 14 周	112.7 km
総走行距離					747.45 km

2016/4/20





道の駅ふじおやま「こどもの日スペシャルイベント」

(商工観光課・道の駅ふじおやま)

(概要)

道の駅ふじおやまと農村活性化センターふじあざみは平成 28 年度から株式会社ふじおやまが一括して指定管理者として運営することとなりました。

今後は両施設の連携を強化し 6 次産業化拠点としての活用を目指すとともに、自主事業や来場者向けのイベントを強化する方針であり、まずはGW期間中の催事として、こどもの日スペシャルイベントを企画しました。

(内容)

1. 日 時 平成 28 年 5 月 5 日 (木・祝) 9:00~14:00
2. 会 場 道の駅ふじおやま 噴水広場外周 (用沢公園エリア)
3. 内 容
 - ・引き馬乗馬体験 800 円／1 周
 - ・記念撮影 800 円／1 ショット (引き馬セットの場合 100 円引)
 - ・にんじん餌やり体験 100 円／1 名
 - ※ 餌やりは 9:00~14:00 の間で 6 回×各 5 名まで
 - ・レストラン、物販等利用される小学生以下のお子様にプレゼント進呈
4. その他 母の日特集=5 月 1 日~8 日 足柄幼稚園のママの似顔絵展示
鉢植カーネーションの販売

(記事掲載・取材等)

○掲載希望時期：4 月末~5 月初頭

【問い合わせ先】

道の駅ふじおやま 駅長 渡邊
電話 76-6660

道の駅ふじおやま



農村活性化センターふじあざみ



道の駅ふじおやまと農村活性化センターふじあざみはこの度指定管理協定を更新し、平成28年4月1日から、(株)ふじおやまが一括で運営しております。今後はさらに地場産品の販路拡大や農業振興を推進し、地域の皆様に愛される道の駅を目指して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

5月5日 (祝)

9:00～14:00

道の駅ふじおやま

(用沢公園エリア)

引き馬乗馬体験

- 800円／1周
噴水広場外周をゆったり歩き
ちびっこから大人まで楽しめます

引き馬
セット価格
1,500円

こどもの日スペシャルイベント
お馬さんに乗ろう・遊ぼう

プロカメラマン記念撮影

- 800円／1ショット
富士山をバックにお馬さんと
お一人でもご家族でもどうぞ♪

餌やり体験(にんじん)

- 100円／1名
9:00、10:00、11:00、12:00、13:00、14:00
各回限定5名様まで
(馬の体調管理のためご理解ください)



指定管理者 株式会社ふじおやま 76-5258

農村活性化センターふじあざみ 76-6660

小山町 商工観光課:76-6114 農林課:76-6121

道の駅の魅力は何と言っても
朝採りの新鮮な農産物たちです
毎日農家の皆さんが丹精込めた
野菜や、つきたての柔らかいお餅
「おふくろの味」の惣菜や弁当など
地元の旬の味覚がお得に勢揃い！
皆様の食卓を健康に彩ります



**春野菜も
充実してきましたよ**



**日替りで
様々なパンがあります**

レストランふじおやまの新コーナー
ふっくら焼きたての「手作りパン」！！
国産小麦や地場産米粉など厳選の
材料を使った安心・安全なパンです
パン職人が講師を務めるパン教室も
ふじあざみ体験工房で開催しています
教室お問合せは：0550-76-5258へ

ふじあざみの手作り弁当・お惣菜は
おかげさまで大好評！
お客様のお好みや年齢、予算に
応じてオリジナルでお作りします
地域行事やイベント会場への配達
もOK！ぜひご利用ください
ご予約は：0550-76-6660へ



**このお弁当
なんと500円タイプ！**

**小学生以下の
お子さまプレゼント
5月5日こどもの日**

**あしがら幼稚園
ママの似顔絵展示
5月1日～8日**

**ゴールデンウィークや母の日に。もちろんいつもの食卓も。
ふじおやま・ふじあざみをどうぞご利用ください♪**





平成 27 年度 なんでも相談実績

(総務課)

○平成 27 年度総合相談実績件数

- ・ 相談件数 96 件
- ・ 相談者数 87 名

○主な相談内容

区分	件数	内容
行政関係	25	町への要望、各課への問い合わせ 官公庁への手続き等
近 隣	13	近隣関係、庭木・排水トラブル等
家 族	10	家族の介護、日常生活等
相 続	7	相続手続、相続トラブル等
借 家	5	借家探し、借家トラブル等

行政手続に関する相談や、町に対する要望、疑問に関する相談が最も多い。

次いで近隣、家族、相続に関する相談となっているが、これらを包括するような総合的な相談も多く、社会情勢や家族形態の変化により、内容が複雑化、高度化している。

なんでも相談事業を周知し、複雑化、高度化する相談に対応するために、関係部署と連携を密にするとともに、ワンストップサービスの機能を高めていく。

【問い合わせ先】

総務課 くらし安全班

電話 76-6130



平成 27 年度 消費生活相談実績

(総務課)

平成 27 年度消費生活センター相談件数

- ・ 相談件数 103 件
- ・ 相談者数 103 名

販売購入形態	件数	主な相談内容
店舗販売	9	携帯電話契約トラブル、日用品購入トラブル
訪問販売	5	蓄電池、点検商法、
通信販売	41	アダルトサイト（出会い系）不当請求・サクラサイト詐欺、ネット購入（健康食品、中古車など）海外通販サイト
電話勧誘販売	17	社債・未公開株の投資詐欺 遠隔操作によるプロバイダ変更契約
ネガティブ オプション	0	
マルチ商法	1	化粧品販売の会員登録
その他 無店舗販売	0	
不明・無関係	29	架空・不当請求、不審電話（マイナンバー・還付金など）
訪問購入	1	貴金属買取り

相談件数は少数だが、マイナンバー制度をかたった不審な電話・メール等に関する相談や情報提供があった。例年通り、メールによるアダルトサイトからの不当請求、電話勧誘による社債・未公開株の劇場型勧誘詐欺、通信販売による健康食品購入トラブル相談が目立つ。

あらゆる相談に対し、相談者が適切な処置・対処が出来るよう、助言・斡旋を行っている。

【問い合わせ先】総務課内 消費生活センター 電話 76-6117



平成 27 年度 古着回収事業実績

(総務課)

1 事業内容

- ① 回収開始：平成 25 年 10 月 1 日から
- ② 回収品目：古着、靴、鞆、ぬいぐるみ、くつ下、マフラー、手袋等
- ③ 回収拠点：6箇所
役場本庁、3支所、生涯学習センター、健康福祉会館
- ④ 設置及び回収費用：全て事業者の負担により実施
事業者により回収ボックスを作製・設置し、週 2 回定期的に回収

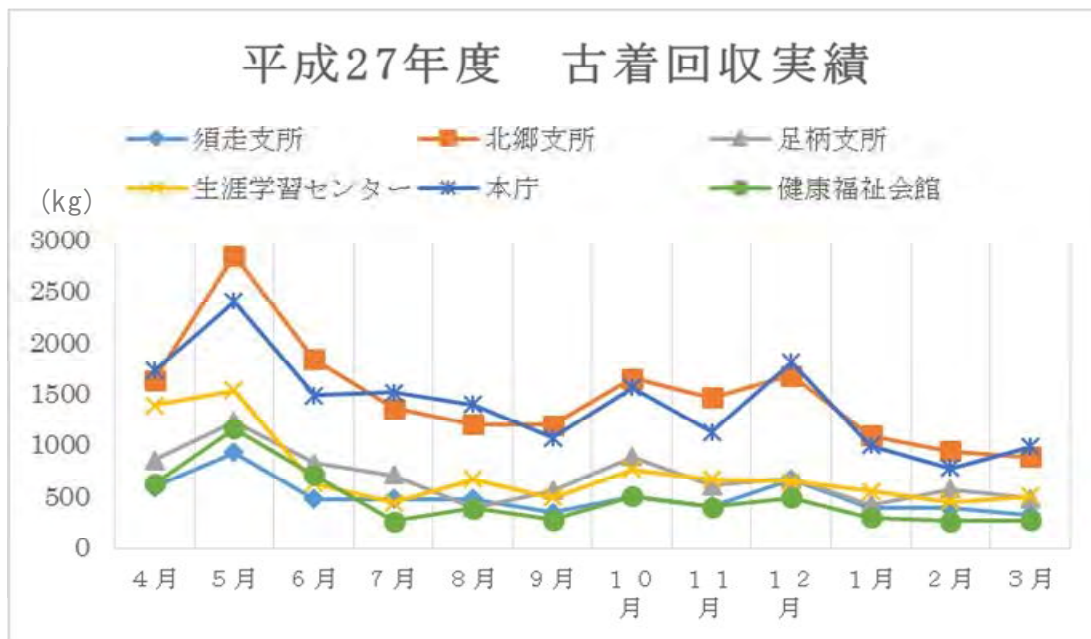
2 回収実績

回収量合計 63,550kg (参考：回収袋数 18,091 袋)

※回収量は平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月までの実績(詳細は下表による)

月	回収量						単位: kg
	須走 支所	北郷 支所	足柄 支所	生涯学習 センター	本庁	健康福祉 会館	計
4月	596	1,639	860	1,393	1,734	628	6,020
5月	933	2,850	1,239	1,536	2,403	1,169	8,090
6月	479	1,839	829	631	1,489	713	7,100
7月	479	1,369	713	446	1,517	266	5,140
8月	482	1,211	401	676	1,400	390	5,130
9月	349	1,205	564	491	1,081	280	5,220
10月	506	1,656	891	766	1,563	508	5,720
11月	412	1,467	609	673	1,134	405	5,090
12月	676	1,680	681	652	1,815	496	5,890
1月	401	1,097	422	555	1,006	299	4,500
2月	394	949	575	452	784	266	4,270
3月	328	894	489	510	987	272	8,640
合計	6,035	17,856	8,273	8,781	16,913	5,692	63,550
26 年度	7,444	18,786	8,054	13,214	17,222	6,090	70,810

項 目	円/kg	円	備考
試算処理費用	49.383	3,138,290	①
売渡額	2	127,100	②
実質利益		3,265,390	① +②



【問い合わせ先】

総務課 くらし安全班

電話 76-6130



食品トレイの拠点回収の実績

(総務課)

背景

平成 27 年 4 月の新ごみ処理施設の稼働に伴い、平成 26 年度ごみ減量等推進懇話会及び廃棄物減量等推進審議会の意見及び答申に基づく、家庭からの廃棄物減量策の一つとして、食品トレイの拠点回収を 26 年 5 月から開始し、ごみ袋有料化に伴う町民の費用負担の軽減を図っている。

実施内容

- (1) 回収拠点 古着回収拠点と同じ 6 カ所
- (2) 回収袋の設置 古着回収ボックスに回収袋を設置する方法
- (3) 回収袋 2 種類設置し、白色トレイとそれ以外の色付きトレイとを分けて回収する。

平成 27 年度実績

月	回収量 (kg)			売渡金額 (円)
	白	色付	計	計
4月	45.6	50.7	96.3	192
5月	60.0	70.0	130.0	260
6月	59.6	69.6	129.2	258
7月	57.4	66.7	124.1	248
8月	60.2	67.2	127.4	255
9月	49.3	60.0	109.3	219
10月	57.9	70.1	128.0	256
11月	53.0	63.3	116.3	233
12月	66.8	78.4	145.2	290
1月	43.4	60.1	103.5	207
2月	47.3	56.4	103.7	207
3月	49.2	57.0	106.2	212
合計	649.7	769.5	1,419.2	2,838

回収実績 $1,419.2\text{kg} \times 2\text{円} = 2,838\text{円}$ ※前年度の 2.7 倍
(平成 26 年度 5 月～3 月の回収実績 : 524.5kg)

【問い合わせ先】

総務課 暮らし安全班
電話 76-6130



平成 28 年度小山町消防操法大会について

(小山消防署)

(概要)

5 月 29 日 (日) に (須走) 多目的広場において、小山町消防団による消防操法大会を行います。

本年 5 月の連休明けから小山町消防団各分団では、消防操法大会目がけ早朝練習を進めています。

また、来年 6 月には御殿場市が開催地となり、平成 29 年度駿東支部消防操法大会が計画され、駿東支部の 6 消防団が参加しポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部で競われる予定です。

(目的)

小山町消防団員の消防操法に対する習熟度を査閲し、消防技術の向上、士気の高揚・分団の結束力向上を図り、規律厳正な団体行動と消防活動の進歩・充実に寄与すること。

(内容)

- 1 日時 平成 28 年 5 月 29 日 (日) 午前 9 時 00 分～12 時 00 分
- 2 場所 須走多目的広場
(荒天時中止、ただし少雨決行とする)

3 査閲種目

- ①ポンプ車操法：第 3 分団・第 5 分団・第 6 分団
- ②小型ポンプ操法：第 1 分団・第 2 分団・第 4 分団・第 7 分団
- ③競技の実施は、小型ポンプ操法→ポンプ車操法の順で交互に行う

《参考》

- ・審査は、大会実施要領に基づき行い、分団訓練指導員の採点で行う。
- ・各種目の優勝・準優勝・第 3 位の表彰をし、表彰状を与える。
- ・各種目の各番員に対して MVP を表彰し、表彰状を与える。
- ・招待者は町長を始め役場関係職員、小山町議会議長以下各議員及び小山町まとい会正副会長

【連絡先】小山消防署管理スタッフ 小見山 (76-0119)

平成28年度 小山町消防操法大会



日時 平成28年5月29日（日）9：00～

場所 須走 多目的広場

平成28年度小山町消防操法大会

日 時 平成28年5月29日（日）

09:00～12:00

会 場 須走 多目的広場

総指揮者 山橋副団長

次 第

【開会式】

- 1 開会のことば
- 2 団旗に敬礼
- 3 消防団長に敬礼
- 4 消防長に敬礼
- 5 観閲者に敬礼
- 6 競技開始

【閉会式】

- 1 成績発表
- 2 表彰並びに団長挨拶
- 3 観閲者講評
- 4 来賓祝辞
- 5 火の用心三唱
- 6 閉会のことば

成 績 結 果

【部門表彰】

ポンプ車操法の部

優 勝	第	分団
第2位	第	分団
第3位	第	分団

小型ポンプ操法の部

優 勝	第	分団
第2位	第	分団
第3位	第	分団

【優秀選手賞】

ポンプ車操法の部

担当	分団	氏名
指揮者		
1番員		
2番員		
3番員		
4番員		

小型ポンプ操法の部

担当	分団	氏名
指揮者		
1番員		
2番員		
3番員		

小山町消防操法大会 選手名簿

ポンプ車操法の部(出場順)

順番	分団	担当	階 級	氏 名
1	第6分団	指 揮 者	団 員	山 口 彰 彦
		1 番 員	班 長	池 谷 義 弘
		2 番 員	分団長	林 淳 一
		3 番 員	部 長	勝 俣 伸 一
		4 番 員	副分団長	勝 俣 隆 行
		補 助 員	団 員	渡 邊 翔 太
2	第5分団	指 揮 者	団 員	長 田 裕 史
		1 番 員	団 員	石 原 和 寛
		2 番 員	団 員	常 盤 仁 志
		3 番 員	団 員	長 田 尚 久
		4 番 員	団 員	長 田 純 弥
		補 助 員	団 員	長 田 義 憲
3	第3分団	指 揮 者	団 員	杉 崎 由 宗
		1 番 員	団 員	横 山 重 久
		2 番 員	団 員	勝 又 慧 太
		3 番 員	部 長	藤 曲 喜 久
		4 番 員	団 員	岩 田 信
		補 助 員	団 員	勝 又 直 樹

小型ポンプ操法の部(出場順)

順番	分団	担当	階 級	氏 名
1	第1分団	指 揮 者	団 員	中 西 雄 亮
		1 番 員	団 員	松 田 圭 太
		2 番 員	団 員	室 伏 順
		3 番 員	団 員	山 崎 衛
		補 助 員	団 員	青 木 康 平
2	第7分団	指 揮 者	団 員	高 田 敏 宏
		1 番 員	団 員	稲 葉 教 文
		2 番 員	団 員	山 口 元 久
		3 番 員	団 員	中 原 智 之
		補 助 員	団 員	小 室 将 樹
3	第4分団	指 揮 者	団 員	岩 田 雄 一 郎
		1 番 員	団 員	小 宮 山 智 士
		2 番 員	団 員	岩 田 光 市
		3 番 員	団 員	北 田 真 規
		補 助 員	団 員	大 野 裕 司
4	第2分団	指 揮 者	団 員	妹 尾 貴 央
		1 番 員	団 員	喜 多 智
		2 番 員	団 員	岩 田 晃 一
		3 番 員	団 員	早 野 誠
		補 助 員	団 員	湯 山 隆 博

小山町内イベント等一覧(5月)

開催日	開始時刻	終了時刻	行 事 名	場 所	概 要	担当課	連絡先	資料NO
5月								
3日	8:00	16:00	富士山金太郎春まつり	金時公園		商工観光課	76-6114	資料NO. 7
3日			2016SUPER GT Round2(予選)	富士スピードウェイ	大砂嵐金崇郎関の観光PR等の出演有	商工観光課	76-6114	
4日			2016SUPER GT Round2(決勝)	富士スピードウェイ		商工観光課	76-6114	
5日	10:00		富士浅間神社例大祭	富士浅間神社		須走支所	75-2211	
5日	9:00	14:00	道の駅ふじおやま 「こどもの日スペシャルイベント」	道の駅ふじおやま		道の駅 ふじおやま	76-6660	資料NO. 11
5日	8:00		第31回御殿場・小山高校野球定期大会	小山球場				
7日	10:00	12:00	母の日のプレゼント作り	総合文化会館美術工芸室		生涯学習課	76-5722	
7日	8:00		北駿中学校野球大会	小山球場				
10日	8:30	12:00	北郷中学校防災教室	北郷中学校 体育館		防災課	76-5715	資料NO. 5
10日	9:00		農業委員会	役場大会議室	5月度農業委員会	農林課	76-6121	
11日	10:00		信濃高原食品㈱富士小山工場開所式	信濃高原食品㈱富士小山工場		丸善食品工業	76-8888	
13日	14:00		小山町観光協会総会	総合文化会館菜の花ホール		観光協会	76-5000	
14日	13:30		健康福祉会館リニューアル記念式典	健康福祉会館		健康増進課	76-6666	
14日	19:00		小山町国際友好協会総会	総合文化会館	平成27年度事業報告・平成28年度事業計画等	町長戦略課	76-6135	
16日			大砂嵐応援ツアー	両国国技館		商工観光課	76-6114	
17日	13:30		自主防災会連合会総会	役場大会議室		防災課	76-5715	
17日	15:30		小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会	総合文化会館菜の花ホール		未来拠点課	76-6129	
18日	14:00		小山町商工会通常総会	総合文化会館		商工会	76-1100	
21日	9:00		足柄千年古道ハイキング	地藏堂(南足柄市)～足柄峠～足柄駅	南足柄市との共催事業	商工観光課	76-6114	資料NO. 8
22日	8:30		第13回富士山国際ヒルクライムサイクルロードレース	ふじあざみライン		商工観光課	76-6141	資料NO. 9
26日	15:30	16:30	定例記者懇談会	役場本庁301会議室		町長戦略課	76-6135	
27日	10:00		自衛隊富士学校協力会総会	総合文化会館菜の花ホール		総務課	76-6131	
29日	9:00	12:00	小山町消防操法大会	須走 多目的広場		小山消防署	76-0119	資料NO. 15



平成 27 年度

小山町 部長マニフェスト

評 価 結 果

平成 28 年 4 月

小 山 町

目 次

◇ 部長マニフェスト評価の概要	1
◇ 部長マニフェスト	
● 企画総務部長	2
● 住民福祉部長	3
● 経済建設部長	4
● 教育部長	5

部長マニフェスト評価の概要

- 1 評価時期 平成 28 年 4 月
- 2 評価方法 各部長は、マニフェストに掲げた施策への取組結果及び目標達成状況を記載します。
なお、部長に異動があった場合は、前任者が記載し後任者へ引き継ぐこととします。
- 3 評価者 町長は、施策毎の目標達成状況を踏まえて最終評価を行うとともに、「町長から一言」欄にコメントを記載します。

【評価区分】 A（達成）、B（一部達成）、C（未達成）
- 4 評価結果 評価結果は、平成 28 年度の部長マニフェストに反映し、施策の P D C Aを図ります。
- 5 公 表 評価結果は、町のホームページ及び広報おやまを通じて公表します。
・ホームページ：5 月初旬、広報おやま：5 月号

【部長マニフェストとは】

1 作成の目的

- (1) 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指します。
- (2) 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組みます。
- (3) 毎年、施策の目標の達成状況を評価し、翌年度のマニフェストに反映することにより、施策の P D C Aを図ります。

2 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、教育部長、危機管理監（28～）

平成 27 年度 企画総務部長マニフェスト評価結果

部長 小野 学

◎重点施策

No	施 策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	三来拠点事業の 着実な推進	【小山 P A 周辺地区】 土地区画整理組合 H28 年 3 月設立 地区計画 H28 年 3 月策定 【湯船原地区】 小山湯船原工業団地造成 H27 年 12 月着手 施設園芸施設 H28 年 3 月完成 太陽光発電用地造成工事 H27 年 12 月着手 【足柄 S A 周辺地区】 地権者協議会発足	小山 P A 周辺地区の土地区画整理組合 設立準備委員会を平成 27 年 8 月に立ち 上げたものの、組合の設立及び地区計画 は策定できませんでした。湯船原地区の 小山湯船原工業団地造成は平成 28 年 4 月に着手し、その他は目標どおりです。 足柄 S A 周辺地区の地権者協議会は平 成 27 年 7 月に発足しました。	評価 区分 B（一部達成）
2	総合計画後期計 画及び総合戦略 の策定	総合計画後期計画及び地方創生のた めの総合戦略を町民等との協働によ り、本年度中に策定します。 ・総合計画 平成 28 年 3 月策定 ・総合戦略 平成 27 年 11 月策定	総合計画後期計画、総合戦略ともに、目 標時期までに策定することができまし た。	評価 区分 A（達成）
3	協働による魅力 あるまちづくり の推進	「金太郎計画 2020」に掲げる事業 を各地域のまちづくり推進協議会と 地域担当職員等が協働により実施し ます。 ・各地域で 2 つ以上の事業を実施	・各地域の事業数、参加人数は次のとお りです。（成美）2 事業 1,300 人、（明倫） 6 事業 690 人、（足柄）6 事業 770 人、（北 郷）3 事業 176 人、（須走）3 事業 251 人	評価 区分 A（達成）
4	人口減少対策の 推進	婚活イベントを開催し、カップル誕生 を目指します。 ・カップル成立数：20 組以上 南藤曲地区に整備した住宅団地を U・ I ターン支援として分譲します。 ・U・I ターン世帯：8 世帯以上	・婚活イベントを 5 回（計 121 人参加） 親向けセミナーを 1 回開催したものの、 カップル成立数は 12 組と、目標には届 きませんでした。 ・U・I ターン世帯は 5 世帯となりました。	評価 区分 C（未達成）
5	職員の意識改革 と資質向上	職員の人材育成基本方針に基づき、職 員の能力開発等に努めます。 ・研修計画受講者：延べ 400 人 ・公開セミナー等受講者：延べ 50 人 ・民間企業 2 社と人事交流	・研修計画受講者 延べ 408 人 ・公開セミナー等受講者 延べ 72 人 ・民間企業 2 社と人事交流	評価 区分 A（達成）

◎町長から一言

- ・三来拠点事業は正念場を迎えています。各地区の円滑な事業実施に向けて全力で取り組んでください。
- ・婚活支援では本町の地域資源と結び付けたイベントを企画するなど積極的に取り組んでいただきましたが、カップル成立数が目標に届かなかったのは残念です。今後も魅力的な取組を進めてください。

平成 27 年度 住民福祉部長マニフェスト評価結果

部長 秋月千宏

◎重点施策

No	施 策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	お達者度向上プロジェクト事業の推進	お達者度の向上に向けて各種施策に取り組めます。 ・おたっしや測定会参加者：200 人 ・老人クラブの自主運動教室：21 クラブ ・健康マイレージポイント達成者：200 人 ・がん検診受診率：50% ・出張けんこう講座の開催回数、参加者：35 回 1,690 人	・おたっしや測定会参加者：361 人 ・老人クラブの自主運動教室：12 クラブ ・健康マイレージポイント達成者：228 人 ・がん検診受診率：33.9% ・出張けんこう講座の開催回数、参加者：34 回 1,163 人	評価区分 B（一部達成）
2	健康福社会館の機能充実	健康福社会館を改修し、リラクゼーション、ダンス・ヨガスタジオ、カフェスペース、多世代交流ルーム等を整備し、併せて、利用の促進を図ります。 ・改修工事 平成 28 年 3 月完了 ・利用促進計画の策定	健康福社会館の改修工事は目標どおり平成 28 年 3 月に完了しました。 利用促進計画は平成 28 年 4 月中旬の策定となりました。	評価区分 C（未達成）
3	国民健康保険特定健診の受診率向上	6 月の特定健診等の受診キャンペーンで、各種団体への受診勧奨を行います。未受診者に対しては、個別通知、電話による受診勧奨を行います。 ・特定健診の受診率：60%	各種団体や未受診者に対する受診勧奨に努めた結果、受診率は昨年同時期の 48%（速報値）と同率でしたが、目標には届きませんでした。	評価区分 C（未達成）
4	認知症対策の充実	認知症を予防するための事業「元気塾」や、認知症の方や家族を見守り応援する「認知症サポーター養成講座」を開催します。 ・元気塾参加者：60 人 ・サポーター養成講座受講者：200 人	元気塾参加者は 81 人と目標を上回りましたが、認知症サポーター養成講座受講者は 127 人で目標には届きませんでした。	評価区分 B（一部達成）
5	自主防災組織と連携した防災訓練の実施	土砂災害に対する防災訓練 ・成美地区の 11 の自主防災組織を対象に実施 ・地域防災訓練（富士山噴火避難訓練含む）参加者：7,000 人	土砂災害に対する防災訓練は、目標どおり成美地区の 11 の自主防災組織を対象に実施しました。地域防災訓練参加者は 7,044 人となり、目標を上回りました。	評価区分 A（達成）

◎町長から一言

- ・健康福社会館利用促進計画は平成 28 年 4 月から運用できるよう、3 月までに策定すべきでした。
- ・特定健診受診率の目標 60%は高い目標ではありますが、今後、受診勧奨を積極的に行うとともに、医師会とも十分な連携を図り、目標値に近づけることができるよう努めてください。

平成 27 年度 経済建設部長マニフェスト評価結果

部長 池谷精市

◎重点施策

No	施 策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	富士山の景観保全と活用	富士山への眺望景観を保全し、町の魅力を高めるため、地域の特性に合わせた景観計画を策定します。 ・景観計画の策定と条例の制定	景観条例は平成 27 年 12 月に、景観計画は 11 月に策定し、平成 28 年 4 月 1 日に施行しました。なお、景観計画は、策定後一部修正の意見が出されたので、平成 28 年 5 月までに修正を行う予定です。	評価区分 B（一部達成）
2	観光振興計画の推進	行政、観光協会、商工会を中心に、事業者、住民及び団体との協働が実践されるよう、推進体制の強化と目標の共有化を進めます。 ・小山町観光推進会議の定期開催と推進母体となる組織の設置	協働による観光振興が図れるよう推進母体となる組織の設置について検討しましたが、設置には至りませんでした。	評価区分 C（未達成）
3	地域を元気にする土地利用の推進	観光に必要な施設の立地を可能にしていく基準を定め、観光施設の立地を促し、地域の活性化を図ります。 ・都市計画法に係る取扱基準の策定	関係機関と協議を行い、都市計画法第 34 条第 2 号の運用基準を策定しました。平成 28 年 4 月 1 日から運用を開始します。	評価区分 A（達成）
4	元気な森林づくり	元気な森林づくりを進めるため、国が行う治山事業へ積極的な協力を行うと共に、国有林と民有林が連携して森林整備を行う区域の設定を進め、林産業の振興を図ります。 ・国などの関係者と協力した森林づくりの体制の構築	平成 28 年 3 月、小山町、林野庁、県東部農林事務所が森林整備推進協定を締結し、民・国有林 1,510ha の森林共同施業団地を設定しました。今後、3 者が連携し、効率的な森林施業を推進します。	評価区分 A（達成）
5	道路網整備の推進	新東名高速道路整備と三来拠点事業の進捗に合わせて、(仮称) 小山 P A に接続する町道整備を着実に進めます。 ・町道 3975 号線用地取得率 70%	地権者との交渉を進めてきましたが、NEXCO 中日本が行う新東名高速道路の用地取得との兼合いなどがあり、用地取得率は面積割合で 55%に留まりました。	評価区分 C（未達成）

◎町長から一言

- ・観光振興計画を着実に推進するため、小山町観光推進会議を定期的開催し、各種事業の進捗状況の検証を実施するなど、PDCAサイクルを推進してください。
- ・国・県・町による森林整備推進協定は大きな成果です。今後は森林認証制度の導入を進めてください。

平成 27 年度 教育部長マニフェスト評価結果

部長 田代順泰

◎重点施策

No	施 策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	教育振興基本計画原案の策定	法律の規定により、策定について努力目標とされている教育振興基本計画の原案を策定します。 ・教育振興基本計画原案の策定	教育振興基本計画の原案を策定し、策定委員会で意見を伺いました。今後、議会への説明、パブリックコメントを経て、6月の教育委員会で決定する予定です。	評価区分 B（一部達成）
2	中学生の英語力向上	中学生の英語力向上のため、英検受験機会の提供を目的とした受験料補助制度を新たに開始します。 ・受験者数割合 100%(中学校全生徒)	平成 27 年度から英検受験料補助制度を開始し、受験率向上に取り組んでいましたが、受験率は 46%となり、目標に届きませんでした。	評価区分 C（未達成）
3	保育園への自己評価の導入	既に自己評価を実施している幼稚園に加え、新たに保育園の自己評価を実施します。 ・保育園、こども園、幼稚園の自己評価の実施及び評価結果の公表	本年度から、幼稚園に加え、保育園、こども園の自己評価を実施しました。評価結果は平成 28 年 3 月に公表しました。	評価区分 A（達成）
4	キャリア教育及びボランティアの充実	・中学 2 年生全員が職場体験を行うことができるよう支援します。 ・新たに、高校生の職場体験を開始します（小山高校生の職場体験を町役場にて実施）。 ・中学生ボランティア参加者の励ましとなるよう、ボランティア表彰制度を創設します。	・原則として中学 2 年生全員（病欠等を除く）が職場体験を実施しました。 ・小山高校 1、2 年生 8 人の職場体験を町役場で実施しました。 ・ボランティア表彰制度を創設し、平成 28 年 3 月に中学生 1 名を表彰しました。	評価区分 B（一部達成）
5	指定管理者に対する事業評価方法の確立	平成 27 年度から開始した生涯学習施設への指定管理者制度に関し、当該指定管理者に対する事業評価方法を確立します。 ・指定管理者に対する事業評価項目の確定	平成 27 年度中に指定管理者に対する事業点検・評価方法及び項目を確定しました。なお、町では毎年度事業点検を行い、2 年毎に事業評価を実施する予定です。	評価区分 A（達成）

◎町長から一言

- ・グローバル人材を育成するためには、まずは英語に慣れ親しんでもらうことが大切です。英検受験料補助制度の周知徹底など、できるだけ多くの中学生が英検を受験するよう工夫してください。
- ・小山高校生の町役場での職場体験者は 8 人に留まりました。今後は受け入れの拡充を進めてください。



平成 28 年度 小山町 部長マニフェスト

平成 28 年 4 月
小 山 町

目 次

◇ 部長マニフェストの概要	1
◇ 部長マニフェスト	
● 企画総務部長	2
● 住民福祉部長	3
● 経済建設部長	4
● 教育部長	5
● 危機管理監	6

部長マニフェストの概要

1 作成の目的

- (1) 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指します。
- (2) 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組みます。
- (3) 毎年、施策の目標の達成状況を評価し、翌年度のマニフェストに反映することにより、施策のPDCAを図ります。

2 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、教育部長、危機管理監

3 記載項目

項 目	内 容
部の紹介	部の所属課及び職員数を記載しています。
部の基本方針	部が抱える重要課題等について、その解決に向けた基本的な考え方を記載しています。
重点施策	当該年度に重点的に取り組む施策について、具体的取組及び目標を記載しています。

4 評価（翌年度）

翌年度当初にマニフェストへの取組及び目標達成状況について評価を行います。

5 公表

- (1) マニフェストは町のホームページ及び広報おやまを通じて公表します。
 - ・ホームページ：5月初旬、広報おやま：5月号
- (2) 翌年度当初に行う評価についても、評価結果として公表します。

平成28年度 企画総務部長マニフェスト

◎部の紹介（平成28年4月1日現在）

【所属課】 町長戦略課、総務課、未来拠点課、税務課、おやまで暮らそう課
 【職員数】 正職員56人 臨時職員等5人



部長 湯山博一

◎基本方針

小山町を元気にする「金太郎大作戦」第二章及び第4次小山町総合計画後期基本計画に基づき、主に「雇用の創出」及び「人口増」を実現するための各施策を速やかに推進するために、多岐にわたる事業の進行等について調整を図り、より効率的な資源の活用に努めます。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	三来拠点事業の着実な推進	三来拠点である「小山PA周辺地区」「湯船原地区」及び「足柄SA周辺地区」において、それぞれの構想に基づき基本計画の策定、実施主体の設立、事業実施を推進します。	【小山PA周辺地区】 土地区画整理組合 H29年3月設立 【湯船原地区】 アグリインダストリーエリア・林業エリア基本計画及びロジスティックターミナル基本計画 H29年3月策定 【足柄SA周辺地区】 足柄SICアクセス道路（2414号線） H29年3月竣工
2	ふるさと納税の促進	・ふるさと納税のより一層の促進のため、PRや返礼品を工夫します。 ・ふるさと納税（企業版）の取り組みを進めます。	・ふるさと納税（個人版）額 ⑳目標 10億円（㉑実績 8.4億円） ・ふるさと納税（企業版）額 1億円（㉒新規）
3	金太郎計画2020の着実な推進	・町内5地区で策定した「金太郎計画2020」に掲げる事業を実施します。 ・町民との協働を進めるため、「まちづくり活動発表会」の充実を図ります。	・金太郎計画に基づく事業の実施数 ⑳目標 各地区2事業 ㉑実績 各地区2～6事業 ・まちづくり活動発表会の参加者数 ㉒目標 500人（㉑実績 150人）
4	小山町特定事業主行動計画の推進	・子育てしやすい勤務環境づくりを進めるため、平成28年度から導入したフレックスタイムの普及を図ります。 ・女性職員の活躍推進のため、女性職員のキャリア形成と能力開発を図ります。	・フレックスタイムの活用 3人 ・女性職員のキャリア形成研修の実施 2回
5	自己実現型定住促進事業の推進（地方創生加速化交付金事業）	・若者世代の本町への移住を促進するため、都内の大学生等を対象にUIJターンイベントを開催します。 ・地域の産業や観光資源を活用し、しごとの創業を支援します。	・学生向けイベントの参加者数 50人 ・新規創業件数 3件

平成 28 年度 住民福祉部長マニフェスト

◎部の紹介（平成 28 年 4 月 1 日現在）

【所属課】 住民福祉課、健康増進課
【職員数】 正職員 27 人 臨時職員等 11 人



部長 秋月千宏

◎基本方針

誰もが、住み慣れた土地で、いつまでも健康で、自立した生活を送れることは最大の幸せであります。

この実現に向けて、住民福祉部の総力を結集して町民の皆様の健康づくりと福祉の充実に努めます。

◎重点施策

No	施 策	具体的取組	目 標
1	国民健康保険特定健診の受診率向上	6 月の受診キャンペーンの他、未受診者への個別通知、電話による受診勧奨等を行います。	・ 特定健診の受診率 ⑳60%（㉑実績(速報値)48%）
2	介護予防施策の充実	高齢者の生きがいと健康づくりを推進する「ふれあい茶論」を開催する他、認知症の早期発見に努め認知症の方や家族を見守り支援するため「認知症サポーター養成講座」を開催します。	・ ふれあい茶論の参加者数 ⑳目標 3,000 人（㉑実績 2,768 人） ・ 認知症サポーター養成講座受講者 ⑳目標 200 人（㉑実績 127 人）
3	お達者度向上プロジェクト事業の推進	・ 高齢者の体力を測る「おたっしや測定会」を継続して実施するとともに、高齢者の自主運動教室の実施を促し、健康づくりを進めます。 ・ 出張けんこう講座を実施し、生活習慣病の予防啓発を推進します。	・ おたっしや測定会参加者 ⑳目標 380 人（㉑実績 361 人） ・ 高齢者の自主運動教室実施 ⑳目標 15 教室（㉑実績 12 教室） ・ 出張けんこう講座の開催回数、参加者 ⑳目標 35 回 1,300 人 （㉑実績 34 回 1,163 人）
4	健康マイレージ事業の推進	健康マイレージ事業のさらなる普及啓発により参加者を増やし、ハッピーチケットの交換賞品増量と抽選会賞品への協賛事業所の増加を図ります。	・ 健康マイレージポイント達成者（実人数） ⑳目標 270 人（㉑実績 228 人） ・ ハッピーチケット交換賞品 ⑳目標 8 品（㉑実績 6 品） ・ 賞品協賛事業所 ⑳目標 12 社（㉑実績 9 社）
5	健康福祉会館の利用推進	平成 27 年度にリニューアルした健康福祉会館の利用促進計画に基づき、会館の利用促進を図り、運動習慣の向上を推進します。	・ リラクゼーションスタジオの年間利用者 ⑳目標 2,800 人（内老人クラブを対象とした運動教室：21 クラブ 210 人） ・ 健康福祉会館年間利用者 ⑳目標 45,000 人（㉑実績 42,362 人）

平成28年度 経済建設部長マニフェスト

◎部の紹介（平成28年4月1日現在）

【所属課】 建設課、農林課、商工観光課、都市整備課、上下水道課
 【職員数】 正職員 38 人 臨時職員等 3 人



部長 池谷精市

◎基本方針

地方創生の流れと首都圏からの地の利を活かして、居住環境の整備、地域産業の強靱化、観光交流の振興を推進します。

静岡県の東の玄関口として、住む人も訪れる人も満足できる魅力溢れるまちづくりを進めます。

◎重点施策

No	施 策	具体的取組	目 標
1	市街化区域内の宅地供給の推進	人口流出への歯止めと定住人口の増加を図るため、市街化区域内の居住環境整備として、宅地化されていない区域について宅地開発の可能性を検討します。	・市街化区域内の宅地開発可能性調査の実施と地権者の意向調査の実施
2	富士山観光の振興	小山町観光推進会議で事業進捗の検証を行い、来訪者の増加に繋がる富士山観光を推進します。また、小山町観光協会と連携して、須走口登山道の魅力を高めるイベントを実施します。	・富士山須走口五合目整備基本計画の策定と情報提供施設整備の推進 ・山小屋で行う星空観賞と日の出観賞をセットにしたイベントの開催
3	活力ある農業の振興	農業の多面的機能の維持・発揮の地域活動に対して支援する「日本型直接支払制度」への取組みを推進し、地域農業の維持、活性化に努めます。	・日本型直接支払制度に取り組む地域 ⑳目標 13 地域（㉑実績 11 地域）
4	森林認証制度の導入	元気な森林づくりを進めるため、森林の環境保全へ配慮した持続可能な森林経営に取り組むとともに、東京五輪を契機とした認証材の需要に対応します。	・民有林、町有林における森林認証（SGEC）の取得
5	交通拠点施設の整備	老朽化が進んでいる足柄駅舎と支所等の複合施設の整備計画を推進します。	・足柄駅交流センター（仮称）基本計画の策定

平成 28 年度 教育部長マニフェスト

◎部の紹介（平成 28 年 4 月 1 日現在）

【所属課】 こども育成課（小学校、中学校、保育園、こども園、幼稚園を含む）、生涯学習課
 【職員数】 正職員 72 人 臨時職員等 147 人 県費負担職員（本務者）119 人



部長 田代順泰

◎基本方針

【気高い富士 金太郎のように思いやる心を持つたくましい人づくり】
 豊かな人間性を持ち「困難・問題をきちんと受け止め、泰然と対処できる人」
 づくりを目指します。

◎重点施策

No	施 策	具体的取組	目 標
1	幼児教育の充実	・子育て支援を町内統一的に実施するため、中核となる施設の設置構想案の検討を行います。 ・こども園化を推進するため、施設分離型のこども園の設置について検討します。	・（仮称）中央子育て支援センター構想案の検討 ・施設分離型こども園設置計画の策定
2	キャリア教育及びボランティアの充実	・小山高校生の町役場でのインターンシップ受け入れの拡充に努めます。 ・中学生ボランティア登録数の向上に努めます。	・小山高校 1 年生の受け入れ ㊹目標 131 人[1 年生全体の 8 割] （㊹実績 8 人：1、2 年生を対象） ・中学生ボランティア登録率 ㊹目標 60%（㊹実績 44%）
3	中学生の英語力向上	平成 27 年度に創設した英検受験料補助制度の活用を促し、中学生の英検受験率の向上に努めます。	・中学生の英検受験率 ㊹目標 80%（㊹実績 46%）
4	次期男女共同参画社会づくり行動計画の策定	平成 29 年度が始期となる第 4 次男女共同参画社会づくり行動計画を策定します。	・第 4 次男女共同参画社会づくり行動計画の策定
5	読書環境の整備	町立図書館と学校図書館の連携システム構想（ハード及びソフト）を策定し、その実現についての検討を行います。	・町立図書館と学校図書館の連携システム構想の策定

平成28年度 危機管理監マニフェスト

◎組織の紹介（平成28年4月1日現在）

【所属課】 防災課

【職員数】 正職員 3人 臨時職員等 1人



危機管理監 岩田芳和

◎基本方針

災害から町民の生命・身体・財産の安全確保を図り、防災に強いまちづくりを目指します。

このため、防災対策を積極的に推進してまいります。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	防災啓発の推進	町民の防災意識の高揚を図るため、自主防災組織や学校と連携し、防災講演会等を実施します。	・ 防災講演会参加者 ⑳目標 350人（㉑実績 307人） ・ 小学校、中学校に対する防災講話 ⑳目標 3校（㉑実績 1校）
2	地域防災計画等の修正	地域防災計画等について、常に最新の防災状況を反映し、その充実を図るため、見直しを行います。	・ 地域防災計画、水防計画、国民保護計画及び業務継続計画の見直し
3	防災体制の強化	・ 自主防災組織（40組織）に対し、地区防災計画の策定を促すため、説明及び作成に関する啓発を行います。 ・ 避難所、物資の提供等の確保のため、引き続き防災協定締結を推進します。	・ 自主防災組織による地区防災計画の策定 10地区（㉑新規） ・ 防災協定締結（累計件数） ⑳目標 39件（㉑実績 36件）
4	危機管理体制の充実	万が一の災害等の発生に迅速かつ的確に対応できるよう、災害対策本部組織編成を見直し、災害発生の危機レベルに応じた体制の整備を図ります。	・ 災害対策本部組織編成の見直し
5	自主防災組織と連携した防災訓練の実施	自然災害による被害を最小限とするため、自主防災組織と連携して防災訓練を実施します。	・ 地域防災訓練（富士山噴火避難訓練含む）参加者 ⑳目標 7,100人（㉑実績 7,044人）